

教育センター学びの丘研修員における学びについて

和歌山市立東中学校

教諭 栗 本 有 人

和歌山県教育センター学びの丘における研修員研修で、修養や研究を通し、教員としての資質・能力の向上を目指してきた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、専門教科に関する研修のみならず、他教科、異校種の研修を受講し、教職キャリア全体を俯瞰することで、研修で学んだこととこれまでの自分自身の学びや経験とを比較し、関係付けながら、学校現場において、自分がどのような役割を果たすべきなのかについて考えることができた。

研究では、生徒の気付きや疑問から授業を進めていく大切さを改めて知ることができた。また、理科で育成を目指す資質・能力を生徒に身に付けさせるためには、教師自身が単元構成や課題内容などを精査し、見通しをもって取り組むことが必要だと学ぶことができた。

今後は、研修員として学んだことを生かして実践に取り組み、所属校の生徒の成長に貢献できるよう努めたい。